

2019年11月8日号

第2回定期大会 打越参院議員を副代表に選出



設立2周年を迎えた立憲民主党新潟県連合（代表、西村智奈美衆院議員）は10月14日、新潟市内で第2回定期大会を開催し、7月の参議院選挙で当選した打越さく良参院議員を副代表に選出しました。また、大会終了後に枝野代表が「臨時国会に臨む論戦と政権交代に向けて」と題して講演しました。大会には、自治体議員や党員、パートナーズなど約100人が出席しました。

大会で西村智奈美代表は、参院選で打越参院議員を当選させることができたことに謝意を述べるとともに、「県連体制は十分とは言えず、県連組織のぜい弱性を克服し、パートナーズ、党員の党勢拡大を進めていく」と挨拶しました。大会では、組織拡大と党組織の整備・確立、女性対策、若者・青年対策、財政基盤強化、選挙対策などを柱とした新年度活動方針を決定しました。

次期衆議院第6区 風間前参議員の鞍替えを認めないことを了承

次期衆議院選挙については、空白区の2区、5区で候補者擁立に努力し、6区は他の野党、連合新潟などと連携し、今年1月に鞍替えを表明した「風間直樹前参院議員の6区鞍替えは認めない」とする常任幹事会のこれまでの方針を了承しました。

最後に「全ての取り組みを政権交代に繋ぐ準備として位置づけ、組織拡大とその漸進に向けて取り組む」とした大会アピールを採択しました。

大会会場で台風19号災害義援募金 4万6,439円を被災地へ

台風19号災害で被災者の皆さんを支援するため、大会会場で義援募金を実施し、4万6,439円を集約しました。お預かりした義援金は全額を千葉県へ送ります。